

議案第85号 令和3年度市立病院事業会計補正予算第2号

資料5 令和3年度県補助金による購入医療機器の説明

補助事業名	医療機器等名称	台数	説明
新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関設備整備事業（重点医療機関等設備整備）補助金	超音波画像診断装置	1台	超音波画像診断装置は、COVID-19の診断や治療において、急性呼吸不全や滲出性胸水の貯留などの症状の診断やモニタリング（肺エコー）、心筋症を合併した場合の検査診断（経胸壁心エコー）、肺炎が進行し胸膜滲出液（胸水）の貯留を認めた場合に超音波ガイド下での胸腔穿刺によるドレナージ（体外排出）を行います。
	気管支鏡	2本	気管支鏡（電子スコープ、ファイバースコープ）を口または鼻から喉を通して、気管や気管支の中に挿入し、内腔の観察や、気管支や肺の組織や細胞、分泌物などの検体の採取を行います。各種胸部疾患の正確な診断・病態解明に使用します。
新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関設備整備事業（人工呼吸器）補助金	人工呼吸器	4台	新型コロナウイルス感染症の患者で肺に強い傷害を受け、体外から酸素を肺に取り込み二酸化炭素を排出する呼吸運動が自発的に得なくなると患者の呼吸をサポートするため人工的に陽圧のガスを送り込み圧力によって肺を膨らませるために使用します。
新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関設備整備事業（人工呼吸器）補助金	加温加湿器搭載型フロージェネレーター（ネーザルハイフロー）	3台	ネーザルハイフロー（HFNC）療法とは、呼吸不全に対する非侵襲的換気療法で、高流量（30～60L/分）の混合酸素を鼻カニューラから流し続ける装置です。人工呼吸器より装着者の負担が軽く食事、会話、口腔ケアが可能です。
感染症検査機関等設備整備補助金	全自動化学発光酵素免疫測定装置（抗原定量検査装置）	1台	PCR検査がウイルスの遺伝子を検出するのに対し、全自動化学発光酵素免疫測定検査（抗原定量検査）は、標識として使用する化学発光物質から発せられる光の強度を測定することで、新型コロナウイルスの持つ特有のたんぱく質（抗原）を定量的に測定するために用いる検査です。 ウイルス遺伝子情報を直接見るPCR検査に比べ検出率は劣りますが、比較的短時間で検査結果が出ます。当院では、第3波以降、感染者や受診患者が増加し検査依頼が増したため、一般の患者の検査結果が遅れ、診療に支障をきたす状況となったため、一般患者の検査体制を安定的に確保するために新型コロナウイルス感染症専用抗原定量検査装置を追加整備するものです。 （抗原検査件数…12月108件、1月166件、2月162件、3月228件、4月376件、5月323件、6月306件、7月358件）